

袋井南部 圏 域

支え合い活動者交流会 39名参加

袋井南部圏域第2層協議体「地域・これからの会」と生活支援コーディネーターが連携して、圏域内の居場所や体操教室、サロン、見守りなど活動されている方たちが集まり、交流会を開催しました。

<活動発表>

高南暮らしの支援隊



高南暮らしの支援隊は、地域ニーズを把握するため、65歳以上の全員にアンケート調査を実施し、その結果から住民が抱える困りごとをサポートする組織を設立。住民のお互い様精神のお手伝いで、困っている方なら誰でも利用が出来、30分300円を支払うことで、住民は頼みやすいと好評になっている。

<意見紹介>

40代から見た高齢者



高齢者から若い人たちへ地域イベントに声掛けすることで、若い人たちも地域行事に参加しやすくなり、あいさつや野菜のお裾分けなど日頃から交流が生まれ、顔の見える関係づくりが構築されている。また、高齢者の活発な活動が若い人たちの活力となり、地域活動の活発化につながっている。

グループ別意見交換会・感想（抜粋）

- ・日々の小さな支援の継続がとても大切。
- ・地域のニーズに応えた支援が必要。
- ・体操後にお茶を飲んだり、話を楽しみたい。
- ・肩肘はらず、気軽に小さな活動からスタートすることが大切。
- ・会員同士の信頼関係を築くことが、充実した活動につながる。



- ・自分自身が楽しんでやること、地域のつながりを大切にしたい。
- ・良いと思われる活動、実績のある活動について、横展開することの必要性を感じた。
- ・参加者全員が役割を持つことで持続できる要素となる。
- ・個別活動をつなげた活動に展開していくことが大切。

